

第 58 回全国学童保育研究集会（20231104~20231105）レポート

【クラブ】（ 風の子クラブ ）

【名 前】（ 川原郁美 ）

① 2 日目に参加した分科会のタイトルをお書きください。

第（23）分科会 （ 子どものからだと生活 ）

第（24）分科会 （ 学童期の子どもと食 ）

※全体会のみに参加の場合は、全体会の記念講演のタイトルをお書きください。

② この分科会を選んだ理由をお書きください。

23 分科会については、子どもたちの成長発達に現代の生活スタイルがどのように影響しているのかを知り、学童保育でのあそびや生活スタイルについて考えたいと思ったからです。

24 分科会については、学童保育でのおやつを含む食事について、考えたいと思ったからです。学童保育でできる「食育」的なものについて、なにかヒントが得られればと思いました。

③2 日間の全体会と分科会で心にのこったことや気づいたことや学んだこと、今後の実践に活かしていきたいことなど、感想もふくめてお書きください（自由記述）。

23 分科会では、コロナ禍前とコロナ禍、そしてコロナ禍明けの子どもたちの体に起きている変化と生活スタイルの関係について、現役で私立小学校の養護教諭をされている講師の方から学びました。この分科会で衝撃的だったのは、コロナ禍で子どもたちの体型（痩せや肥満）、肩こりや睡眠不足だと感じる子どもの割合に変化が大きく出ているということでした。コロナ禍で男子は肥満傾向にあり、女子は痩せ傾向にあったという違いにも驚きましたが、外出を制限されることで生活スタイルが変わり、遊び方も変化していくことで、シンプルに運動不足によっての変化もあると思いますが、生活を制限されるストレスによって、見た目に分かりやすく体の変化があることに驚きました。大人は生活スタイルが多少変化しても、さほど体型などの見た目にはわかる変化はないと感じています。発達途上の子どもにこそ表れる変化だと考え、注視する必要があると思いました。また、小学生のうちから肩こりや睡眠不足を感じるのは、現代ならではだと思いました。身体を動かして遊ぶ機会が減り、オンラインゲームをする機会が増えたことは大きな要因だと思います。自宅での生活を変えることは私にはできませんが、学童保育では身体を動かして遊ぶことを提案していけたらと思いました。最後に、コロナ禍に思っていることを子どもたちに聞いたアンケートに「大人はマスクを外してお酒を飲んで、パチンコにも密で並んでいるのに私（子ども）たちばかり我慢させられる。大人は何も考えていない」という言葉がありました。子どもたちは子どもたちなりに考えていて、大人にはわからないストレスがたくさんあったんだとあらためて思い知らされ、子どもの気持ちを考えることは常にしていきたいと思いました。

24 分科会は、講師の方が NHK 教育で放送されていた『ひとりのできるもん！』の監修をされていた方でした。お世話になった番組なのでお話を聞けることがとても嬉しく、楽しい分科会でした。学童保育での昼食をテーマにした分科会で、昼食の時間をどのような時間にしたらいいのか、子どもたちが参加する昼食作りについてお話を聞き、全国の学童保育の長期休暇の昼食について話し合いました。

印象に残ったことが 2 つあり、1 つは作ることをしなくても、子どもたちとメニューを考えるだけでも子どもにとっては参加になるということです。風の子では、昼食づくりはしていませんが手づくりおやつをしています。「子どもたちと作ればいいんだけどなあ」と思うこともあります。人数の関係で断念しています。でもこの分科会に参加して、「メニューと一緒に考えるでもいいのか！」と気づきました。自分が考えたメニューが出てれば、嬉しく思う子どもがいると思います。実践していこうと思います。

2 つ目は、講師の方の「いただきます、ごちそうさまって絶対にその学童保育のみんなで一斉にしなきゃいけないの？」という問いかけでした。これまで何の疑問もなくそうしていましたが、講師の方の「テーブルごととか、小さい集団でいいから、まず大事なのはその挨拶をする意味を知ってやろうとする姿勢じゃないの？」という言葉にたしかにそうだと思います。全員ですることによって、できていない子を注意する労力も無駄だし、そこに時間をかける意味ってなんだろうと思いました。全員にこだわらず、子どもができる姿勢や形で、挨拶の意味を知ってすることの方が大切だと思いました。

風の子には、日々のおやつを楽しみにしている子がたくさんいます。その楽しみをこれからもつなげていけるように、時間づくりをしていきたいと思います。

※提出されたレポートは、当会の広報紙やホームページに掲載する場合があります。あらかじめご了承ください。

※×切は、11 月 30 日（木）です。常勤専任指導員に手渡し、または、okazakigakudou@yahoo.co.jp までお送りください。